

「食」を楽しむ

小戸神小学校

現代の子どもたちは、核家族が多く、子どもだけの孤食一人で食べることも少なくないと言われています。

その点、小戸神小学校に通う子どもたちは、おじいさん・おばあさんと一緒に暮らす大家

族がほとんどです。子どもたちからは、家族のみならず楽しく食事をしている話がひんぱんに聞かれます。

家庭だけではなく、学校でも楽しく食事をとることを意識させています。

まず、学期に一回、行事と関連させ、全校給食を実施しています。この全校給食では、全児童

二十五名と職員が一つの教室に集まり、学年に促わらずに、楽しくおしゃべりをしながら食事をとっています。また、バイキング給食をなるべく学期に一度実施し、栄養のバランスや自分の食べられる量を知った上で、自分でその量を加減しながら、自分でよそって食べています。

一学期のバイキング給食には、小野新町小学校の志賀敦子先生に来ていただき、給食に使われている小野町で採れたミネラル野菜についてのお話を聞き、実

際に触れてみることもできました。また、食に関する指導の中でマナーについて

次に、保護者と一緒に給食を食べ、実際に児童が食べている給食を保護者の方に味わっていただく給食試食会を実施しています。普段と違った構成で給食を食べる楽しみと、学校と家庭での食事のマナーについて

の共通理解を図るようになっています。

ただ食を楽しむだけではなく、配膳から食後の後片付けまでのマナーがしっかりと身につくよう、毎日、各教室は勿論、職員全員で指導を行っています。

これから食を楽しむ上での会話やマナーなどを十分に理解した上で食を楽しんでもらいたいと思っています。

(記事 小野町立小戸神小学校 蒲生 佐知子先生)

